



強豪相手に持ち味発揮!

4 出水商 強入

又木鹿

号外

出水商の快進撃が止まらない。鹿児島城西に完封勝ちで4強入り。新町公介主将は「上を目指し気持ちで今大会に臨んだ。森園、中尾の投手陣が頑張り、周りも良く守った。練習の成果が出ています」と胸を張った。

先発の左腕 森園直行「写真」の好投が大きな流れを作った。173センチ、60キロと小柄だが、立ち上がりからストライク先行で持ち球の切れのある直球、スライダーをテンが良く投げ込む。四死球を出さないことと「F」を突くことだけを考えて投げた。森園と七回まで4安打、三塁を踏ませなかった。沖園洋一監督も「高めのボールに思ったほど伸びがなくて、何度かカットされていたけど、低めのボールに伸びがあった。今まで一番良い出来」と賞賛した。八回からは、球威のある直球と切れのあるスライダーが武器の中尾が3人ずつで打ち取った。攻撃では好投手・倉野の前に序盤はなかなか好機を作れなかったが、五回に森園の

左中間一塁打で初めて得点圏に走者を進めると連続バント攻撃で先制。終盤は相手のミスにもそつなくつけ込んで加點し、攻守とも最後まで自分たちのリズムを押し切った。

今大会、初戦はいい。2回戦は檜南、そして鹿児島城西と強豪私学に自分たちの持ち味を随所に発揮して、快進撃を続けている。沖園監督は「みんなの力は、まだまだこんなものじゃない。これからの試合でも、もっともって持っている力を出して」と、力強い檄を飛ばしていた。

「練習の成果」で快進撃

第50回NHK旗争奪県選抜高校野球大会第5日は5月30日、鹿児島市の県立鴨池球場で準々決勝2試合があった。第1試合は出水商が先発 森園直行、2番手 中尾元気の投手リレーで鹿児島城西打線を4安打完封。三塁を踏ませなかった。第2試合は鹿児島実が序盤から打線がつかがり、シード神村学園に7-1で勝ち、31日は休養日。第6日は6月1日、同球場で準決勝2試合がある。【政純一郎】

準々決勝				
出水商	000	010	110	= 3
鹿児島城西	000	000	000	= 0
(出)	森園、中尾	新町		
(鹿)	倉野	船越、下茂		

